



令和6年度 小金井市立小金井第四小学校 学校経営方針

< 東京都教育委員会 教育目標 >

東京都教育委員会は、子供たちが知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、人間性豊かに成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間の育成に向けた教育を重視する。

< 小金井市立小金井第四小学校 教育目標 >

人間尊重の精神を基本とし、広く国際社会に生きる人間として、心身ともに健康で生涯を通して学び続けることのできる児童の育成をめざす。

- つよく 心も体もたくましい子
- かしこく よく考え実行する子
- ◎ あたたく 思いやりのある子

< 小金井市教育委員会 教育目標 >

一人一人の子供が未来を創造する当事者として、活発な好奇心をもち、創造的な課題発見・解決力を身に付けるとともに、健康で人間性豊かに成長することを願い

- 自他の人権や多様な文化を尊重し、寛容で思いやりのある人
- 自ら学び協働して問題を解決していく、創造力豊かな人
- 地域社会の一員として、社会貢献できる人
- 健康の大切さを理解し、心身ともにたくましく生きる人の育成に向けた学校教育を推進する。

< めざす学校像 >

「みんなの笑顔が輝く学校」

- ◆ 子供が、「今日も登校してよかった」と実感できる学校
- ◆ 「チーム小金井四小」の力を結集し、主体的に課題を解決していく学校
- ◆ 保護者・地域が、「学校に足を運んでよかった」と思ってもらえる学校

< めざす教職員像 > 子供の数は、新しい未来を創る「希望の数」

- ◇ 子供一人一人を大切にする教職員
- ◇ その子らしさを最大限伸ばす教職員
- ◇ 一人一人に適切なかかわりをする教職員
- ◇ 全体の奉仕者である教育公務員としての自覚と使命を果たす教職員

クリティカル・シンキングを働かせる

- ・多面的・多角的思考
- ・論理的思考
- ・メタ認知

< 学校教育目標を達成するための主な取組 >

四小スタンダードの確立

(四小の良き伝統を引き継ぎながら、新しい時代の変化に柔軟に対応できる持続可能な学校づくりを目指して)

- ◆本校の教職員が今までに培ってきた教育技術を、生活指導、学習指導、働き方改革を柱とした四小スタンダードとにして残していく。子供たちの安心・安全、教職員の指導の普遍性及び人材育成を目的とする。
- ◆学校運営協議会の熟議のテーマに設定し、コミュニティ・スクール委員と一緒に、本校らしさを大切に四小スタンダード作りを行う。また、子供の声や意見を聞き、実態を考察しながら作成していく。
- ◆「四小スタンダード」については、随時、保護者や地域に発信していくことで、保護者や地域の理解を得ながら、コミュニティ・スクールとして地域の子供たちを地域で育ていく風土を醸成していく。

安心・安全

1 人権尊重教育の推進

- ・「小金井市子どもの権利に関する条例」の周知
- ・生命尊重、いじめ防止に関する授業を毎学期実施
- ・ひだまり教員による、児童、保護者への理解促進
- ・授業におけるユニバーサルデザインの実施、及び合理的配慮の提供

2 危険予知能力の育成

- ・毎月の安全指導、避難訓練を確実に実施、改善を図る
- ・4つの「あ」(挨拶、安全、集まり、後片付け)を徹底
- ・デジタル・シティズンシップ教育の推進

3 教育相談機能の充実

- ・各相談窓口の周知
- ・SOSの出し方を周知
- ・心理士によるアセスメントを生かした個別支援
- ・保護者面談の充実(何時でも、誰にでも相談できる体制)

授業変革

1 学力向上を目指した授業変革

- ・対話実施状況アンケートを活用した授業変革
- ・ICT機器の効果的な活用と校内での情報共有
- ・授業改善推進プランに基づいた授業実施と検証
- 「書くことは考えること」書く学習の設定
- 学習の見通しと、振り返りの重視

2 校内研究・研修

- ・四小スタンダード作り(教員の対話 CS 熟議 児童の声)
- ・「主体的・対話的で深い学び」に係る授業実践(全教員年間1回以上公開)
- ・校内教員の授業公開を活用した学びの機会作り

3 健康教育の推進

- ・「保健だより」「ランチニュース」の活用
- ・短縄週間 持久走週間、長縄チャレンジの継続
- ・朝外遊び(1日/週)、休み時間の外遊びの励行

チーム四小・地域連携

1 校務分掌の見直し

- ・ベテラン教員と若手教員のペアでOJTを実施
- ・働き方改革の推進
- 校内の整理整頓 配布資料の電子化の推進
- ・会議の精選 会議時間の始めと終わり明記

2 コミュニティ・スクールとしての地域連携

- ・地域の教育資源を生かした学習
- ・学校の地域貢献(児童、教職員、保護者による)
- ・教育活動の積極的な情報発信
- ・地域学校協働活動とPTA活動の連携
- ・ハチドリプロジェクトの継続

3 小・中連携、幼・保・小連携

- ・南中、前原小との連携による授業参観及び情報共有
- ・近隣の幼稚園、保育園との交流や授業見学